



## CIMC アクセスの設定

---

この章では、E シリーズ サーバ のインターフェイスの概要と、E シリーズ サーバが ISR G2 と Cisco ISR 4451-X にインストールされたときに CIMC アクセスを設定する手順について説明します。ここで説明する内容は、次のとおりです。

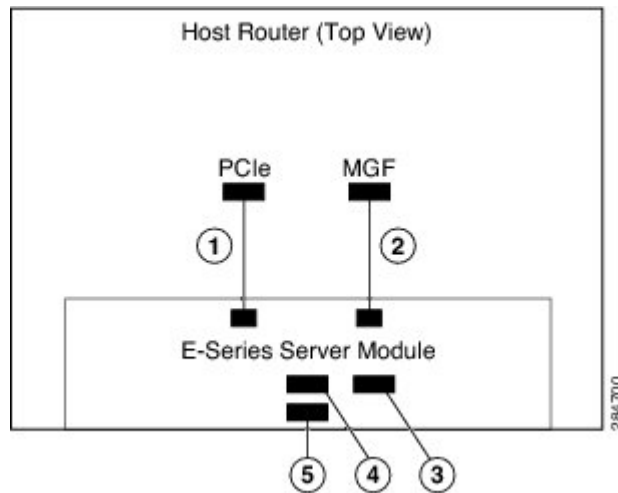
- [CIMC アクセスの設定 : ISR G2, 2 ページ](#)
- [CIMC アクセスの設定 : Cisco ISR 4451-X, 15 ページ](#)
- [CIMC 設定ユーティリティによる CIMC アクセスの設定, 31 ページ](#)
- [スクリプト ファイルによるネットワークのスタティック設定の定義, 33 ページ](#)

## CIMC アクセスの設定 : ISR G2

### E シリーズ サーバ インターフェイスの概要 : ISR G2

次の図は、倍幅 E シリーズ サーバおよび ISR G2 ホスト ルータのインターフェイスを示します。

図 1: ダブルワイドの E シリーズ サーバ インターフェイス



	インターフェイス	インターフェイスの場所	説明
1	ルータの PCIe slot/0 インターフェイス	内部インターフェイス	コンソール インターフェイスとも呼ばれます。このインターフェイスは、ルータの PCIe インターフェイスを E シリーズ サーバに接続します。PCIe インターフェイスは、ルータと E シリーズサーバ間の内部レイヤ 3 GE リンクを提供します。CIMC 設定でもホストオペレーティングシステム設定でも使用できます。

2	ルータの MGF <i>slot</i> /1 VLAN インターフェイス	内部インターフェイス	高速バックプレーンスイッチ上で CIMC にアクセスするために使用されます。MGF VLAN インターフェイスは、ルータと E シリーズ サーバ間の内部レイヤ 2 GE リンクを提供します。このインターフェイスは、CIMC 設定でもホストオペレーティングシステム設定でも使用できます。
3	管理（専用）インターフェイス	外部インターフェイス	CIMC の設定と管理に使用されます。
4	GE3 インターフェイス	外部インターフェイス	プライマリ インターフェイスまたはバックアップ インターフェイスとして使用されます。このインターフェイスは、CIMC 設定でもホストオペレーティングシステム設定でも使用できます。  (注) GE3 インターフェイスは、ダブル幅 E シリーズサーバだけで使用できます。
5	GE2 インターフェイス	外部インターフェイス	プライマリ インターフェイスまたはバックアップ インターフェイスとして使用されます。このインターフェイスは、CIMC 設定でもホストオペレーティングシステム設定でも使用できます。

## CIMC アクセス設定オプション : ISR G2

リモート ユーザであるかローカル ユーザであるかに応じ、次のいずれかの操作を実行して CIMC アクセスを設定します。

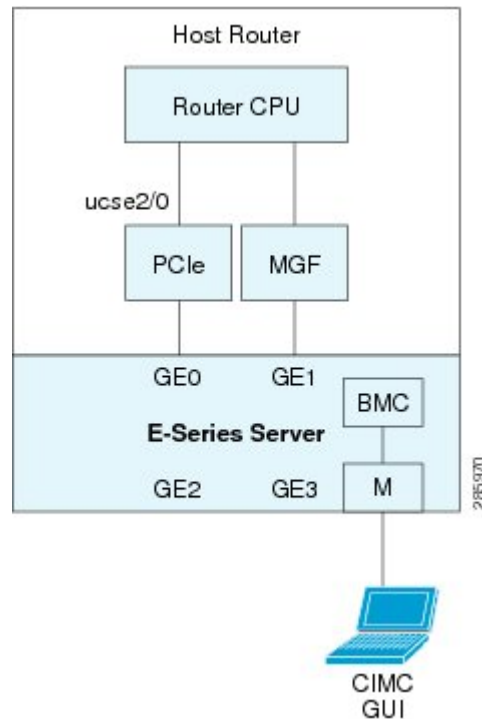
- リモート ユーザの場合は、外部管理（専用）インターフェイスか、次のいずれかの共有 LOM インターフェイスを使用して CIMC アクセスを設定します。
  - ルータの内部 PCIe *slot*/0 コンソール インターフェイス
  - ルータの内部 MGF *slot*/1 VLAN インターフェイス
  - E シリーズ サーバ の外部 GE2 または GE3 インターフェイス

- ローカルユーザの場合は、Cisco IOS CLI または CIMC 設定ユーティリティを使用して CIMC アクセスを設定します。

## E シリーズ サーバの外部管理（専用）インターフェイスによる CIMC アクセスの設定 : ISR G2

次の図と手順を確認し、その手順に従って、E シリーズ サーバの外部管理（専用）インターフェイスを使用して CIMC アクセスを設定します。

図 2 : E シリーズ サーバの外部管理（専用）インターフェイスによる CIMC アクセスの設定



### はじめる前に

次の情報について確認してください。

- CIMC の IP アドレス。
- ルータにログインするためのユーザ名とパスワード。
- E シリーズ サーバのスロットとポート番号。

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	Router> <b>enable</b>	ホスト ルータで特権 EXEC モードを開始します。 パスワードを入力します (要求された場合)。
ステップ 2	Router# <b>configure terminal</b>	ホスト ルータでグローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	Router (config)# <b>interface ucse slot/port</b>	E シリーズサーバがインストールされているスロットとポート用のインターフェイス コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 4	Router (config-if)# <b>imc ip address cimc-ip-address subnet-mask default-gateway cimc-gateway-ip-address</b>	CIMC の IP アドレスと、CIMC が使用する必要があるデフォルト ゲートウェイの IP アドレスを指定します。  <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>cimc-ip-address</i> : CIMC の IP アドレス。</li> <li>• <i>subnet-mask</i> : IP アドレスに付加するサブネットマスクであり、ホストルータと同じサブネットに属する必要があります。</li> <li>• <i>cimc-gateway-ip-address</i> : デフォルト ゲートウェイの IP アドレス。</li> </ul>
ステップ 5	Router (config-if)# <b>imc access-port dedicated</b>	サーバの外部管理 (専用) インターフェイスを使用して CIMC アクセスを設定します。「 <a href="#">E シリーズサーバインターフェイスの概要 : ISR G2</a> 」の 3 番目の項目を参照してください。
ステップ 6	Router (config-if)# <b>no shut</b>	インターフェイスが管理上のアップ状態になります。
ステップ 7	Router (config-if)# <b>end</b>	コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 8	Router# <b>show running-config</b>	アドレス設定を確認できるように、ルータの実行コンフィギュレーションを表示します。
ステップ 9	Router# <b>copy running-config startup-config</b>	(任意) ルータの新しい実行コンフィギュレーションをスタートアップコンフィギュレーションとして保存します。

次の例は、サーバの外部 IMC 専用インターフェイスを使用して CIMC アクセスを設定する方法を示しています。

```
Router> enable
```

```

Router> password
Router# configure terminal

Router(config)# interface ucse 2/0
Router(config-if)# imc ip address 10.0.0.1 255.0.0.0 default-gateway 10.0.0.2
Router(config-if)# imc access-port dedicated
Router(config-if)# no shut
Router(config-if)# end

Router# show running-config
Router# copy running-config startup-config

```

## 共有 LOM による CIMC アクセスの設定 : ISR G2

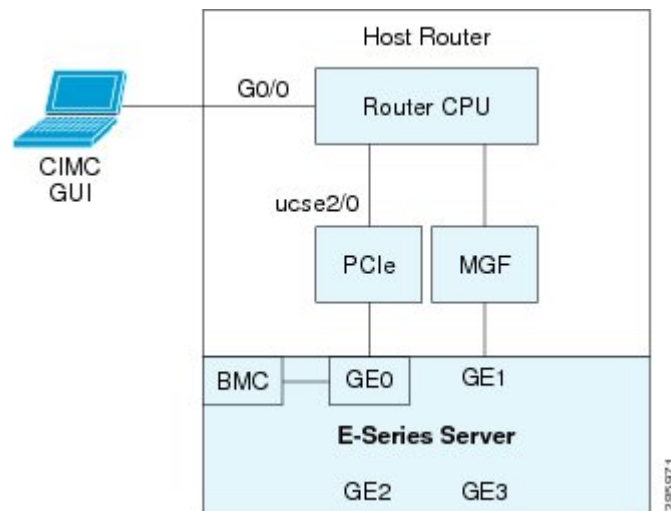
CIMC アクセスを設定するには、次の共有 LOM インターフェイスのいずれかを使用します:

- ルータの内部 PCIe slot/0 コンソール インターフェイス
- ルータの内部 MGF slot/1 VLAN インターフェイス
- E シリーズ サーバ の外部 GE2 または GE3 インターフェイス

### ルータの内部 PCIe Slot/0 コンソール インターフェイスによる CIMC アクセスの設定 : ISR G2

次の図と手順を確認し、その手順に従って、ルータの内部 PCIe slot/0 コンソール インターフェイスを使用して CIMC アクセスを設定します。

図 3 : ルータの内部 PCIe Slot/0 コンソール インターフェイスによる CIMC アクセスの設定



#### はじめる前に

次の情報について確認してください。

- CIMC の IP アドレス。
- ルータにログインするためのユーザ名とパスワード。

- E シリーズ サーバのスロットとポート番号。

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	Router> <b>enable</b>	ホスト ルータで特権 EXEC モードを開始します。パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	Router# <b>configure terminal</b>	ホスト ルータでグローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	Router (config)# <b>interface GigabitEthernet0/0</b>	ギガビット イーサネット 0/0 のインターフェイス コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 4	Router (config-if)# <b>ip address ip-address subnet mask</b>	インターフェイスの IP アドレスおよびサブネット マスクを指定します。
ステップ 5	Router (config-if)# <b>no shut</b>	インターフェイスが管理上のアップ状態になります。
ステップ 6	Router (config-if)# <b>end</b>	コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 7	Router# <b>configure terminal</b>	ホスト ルータでグローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 8	Router (config)# <b>interface ucse slot/port</b>	E シリーズサーバがインストールされているスロットとポート用のインターフェイス コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 9	Router (config-if)# <b>ip unnumbered type number</b>	<p>(任意) <code>ip unnumbered</code> コマンドは、インターフェイスに明示的な IP アドレスを割り当てずに、そのインターフェイス上での IP 処理をイネーブルにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>type</i> : 割り当てられた IP アドレスをルータが保持しているインターフェイスのタイプ。</li> <li>• <i>number</i> : 割り当てられた IP アドレスをルータが保持しているインターフェイスおよびサブインターフェイスの番号。</li> </ul> <p>(注) アンナンバードインターフェイスは、一意である必要があります。番号付けされていない別のインターフェイスは指定できません。</p> <p><code>ip unnumbered</code> コマンドを使用する場合は、<code>ip route</code> コマンドを使用してスタティック ルートを作成する必要があります。</p>

	コマンドまたはアクション	目的
		注意 ip unnumbered および ipv6 unnumbered コマンドでは、デバイス間のポイントツーポイントインターフェイスが作成されます。ブロードキャストはサポートされません。
ステップ 10	Router (config-if)# <b>imc ip address</b> <i>cimc-ip-address</i> <i>subnet-mask</i> <b>default-gateway</b> <i>cimc-gateway-ip-address</i>	CIMC の IP アドレスと、CIMC が使用する必要があるデフォルトゲートウェイの IP アドレスを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>cimc-ip-address</i> : CIMC の IP アドレス。</li> <li>• <i>subnet-mask</i> : IP アドレスに付加するサブネットマスクであり、ホスト ルータと同じサブネットに属する必要があります。</li> <li>• <i>cimc-gateway-ip-address</i> : デフォルト ゲートウェイの IP アドレス。</li> </ul>
ステップ 11	Router (config-if)# <b>imc access-port shared-lom console</b>	ルータの PCIe slot/0 (コンソール) インターフェイスを使用して CIMC アクセスを設定します。「 <a href="#">E シリーズ サーバ インターフェイスの概要 : ISR G2</a> 」の 1 番目の項目を参照してください。
ステップ 12	Router (config-if)# <b>no shut</b>	インターフェイスが管理上のアップ状態になります。
ステップ 13	Router (config-if)# <b>end</b>	コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 14	Router# <b>configure terminal</b>	ホスト ルータでグローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 15	Router (config)# <b>ip route</b> <i>cimc-ip-address</i> <i>subnet-mask</i> <b>ucse</b> <i>slot/port</i>	スタティック ルートを作成します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>cimc-ip-address</i> : CIMC の IP アドレス。</li> <li>• <i>slot/port</i> : E シリーズ サーバがインストールされるスロットとポート。</li> </ul>
ステップ 16	Router (config-if)# <b>end</b>	コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 17	Router# <b>ping</b> <i>cimc-ip-address</i>	ルータの内部 PCIe slot/0 コンソール インターフェイスを経由したルータから CIMC への接続を確認します。
ステップ 18	Router# <b>show running-config</b>	アドレス設定を確認できるように、ルータの実行コンフィギュレーションを表示します。



	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 19	Router# <b>copy running-config startup-config</b>	(任意) ルータの新しい実行コンフィギュレーションをスタートアップコンフィギュレーションとして保存します。

次に、サーバの内部 PCIe slot/0 コンソールインターフェイスを使用して CIMC アクセスを設定する例を示します。

```
Router> enable
Router> password
Router# configure terminal

Router(config)# interface GigabitEthernet0/0
Router(config-if)# ip address 10.0.0.1 255.0.0.0
Router(config-if)# no shut
Router(config-if)# end

Router# configure terminal
Router(config)# interface ucse 2/0
Router(config)# ip unnumbered GigabitEthernet0/0
Router(config-if)# imc ip address 10.0.0.2 255.0.0.0 default-gateway 10.0.0.1
Router(config-if)# imc access-port shared-lom console
Router(config-if)# no shut
Router(config)# end

Router# configure terminal
Router(config)# ip route 10.0.0.2 255.255.255.255 ucse 2/0
Router(config)# end

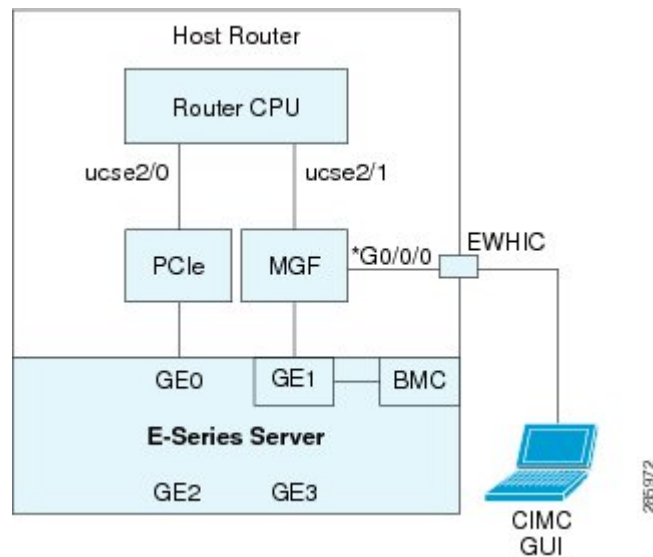
Router# ping 10.0.0.2
Type escape sequence to abort.
Sending 5, 100-byte ICMP Echos to 10.0.0.2, timeout is 2 seconds:
!!!!
Success rate is 100 percent (5/5), round-trip min/avg/max = 1/2/4 ms

Router# show running-config
Router# copy running-config startup-config
```

## ルータの内部 MGF Slot/1 VLAN インターフェイスによる CIMC アクセスの設定 : ISR G2

次の図と手順を確認し、その手順に従って、ルータの内部 MGF slot/1 VLAN インターフェイスを使用して CIMC アクセスを設定します。

図 4 : ルータの内部 MGF Slot/1 VLAN インターフェイスによる CIMC アクセスの設定



(注) \* サポートされる Cisco EtherSwitch EHWIC の一覧については、「[サポートされている Cisco EtherSwitch EHWIC](#) および [Cisco EtherSwitch サービス モジュール](#)」を参照してください。

### はじめる前に

次の情報について確認してください。

- CIMC の IP アドレス。
- ルータにログインするためのユーザ名とパスワード。
- E シリーズ サーバのスロットとポート番号。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	Router> <b>enable</b>	ホスト ルータで特権 EXEC モードを開始します。パスワードを入力します (要求された場合)。
ステップ 2	Router# <b>show vlan-switch</b>	VLAN を表示します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	Router# <b>configure terminal</b>	ホストルータでグローバルコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 4	Router (config)# <b>interface vlan vlan-number</b>	指定した VLAN 番号の VLAN コンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 5	Router (config-if)# <b>ip address vlan-ip-address subnet mask</b>	VLAN の IP アドレスを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>vlan-ip-address</i> : VLAN の IP アドレス。</li> <li>• <i>subnet-mask</i> : IP アドレスに付加するサブネットマスク。</li> </ul>
ステップ 6	Router (config-if)# <b>end</b>	コンフィギュレーションモードを終了します。
ステップ 7	Router# <b>configure terminal</b>	ホストルータでグローバルコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 8	Router (config)# <b>interface ucse slot/port</b>	Eシリーズサーバがインストールされているスロットとポート用のインターフェイス コンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 9	Router (config-if)# <b>imc ip address cimc-ip-address subnet-mask default-gateway cimc-gateway-ip-address</b>	CIMC の IP アドレスと、CIMC が使用する必要があるデフォルトゲートウェイの IP アドレスを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>cimc-ip-address</i> : CIMC の IP アドレス。</li> <li>• <i>subnet-mask</i> : IP アドレスに付加するサブネットマスクであり、ホストルータと同じサブネットに属する必要があります。</li> <li>• <i>cimc-gateway-ip-address</i> : デフォルトゲートウェイの IP アドレス。</li> </ul>
ステップ 10	Router (config-if)# <b>imc access-port shared-lom GE1</b>	ルータの内部 <i>slot/1</i> MGF VLAN インターフェイスを使用して CIMC アクセスを設定します。「 <a href="#">Eシリーズサーバインターフェイスの概要 : ISR G2</a> 」の 2 番目の項目を参照してください。
ステップ 11	Router (config-if)# <b>no shut</b>	インターフェイスが管理上のアップ状態になります。
ステップ 12	Router (config-if)# <b>end</b>	コンフィギュレーションモードを終了します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 13	Router# <b>ping cimc-ip-address</b>	ルータの内部 MGFslot/1 VLAN インターフェイスを経由したルータから CIMC への接続を確認します。
ステップ 14	Router# <b>show running-config</b>	アドレス設定を確認できるように、ルータの実行コンフィギュレーションを表示します。
ステップ 15	Router# <b>copy running-config startup-config</b>	(任意) ルータの新しい実行コンフィギュレーションをスタートアップ コンフィギュレーションとして保存します。

次の例は、ルータの内部 MGF slot/1 VLAN インターフェイスを使用して CIMC アクセスを設定する方法を示しています。

```
Router> enable
Router> password
Router> show vlan-switch
VLAN Name                Status      Ports
-----
1    default                active     Gi0/0/0, Gi0/0/1, Gi0/0/2
                                         Gi0/0/3, uc2/1

Router# configure terminal
Router(config)# interface vlan 1
Router(config-if)# ip address 10.0.0.1 255.0.0.0
Router(config-if)# end

Router# configure terminal
Router(config)# interface ucse 2/0
Router(config-if)# imc ip address 10.0.0.2 255.0.0.0 default-gateway 10.0.0.1
Router(config-if)# imc access-port shared-lom GE1
Router(config-if)# no shut
Router(config-if)# end

Router# ping 10.0.0.2
Type escape sequence to abort.
Sending 5, 100-byte ICMP Echos to 10.0.0.2, timeout is 2 seconds:
!!!!
Success rate is 100 percent (5/5), round-trip min/avg/max = 1/2/4 ms

Router# show running-config
Router# copy running-config startup-config
```

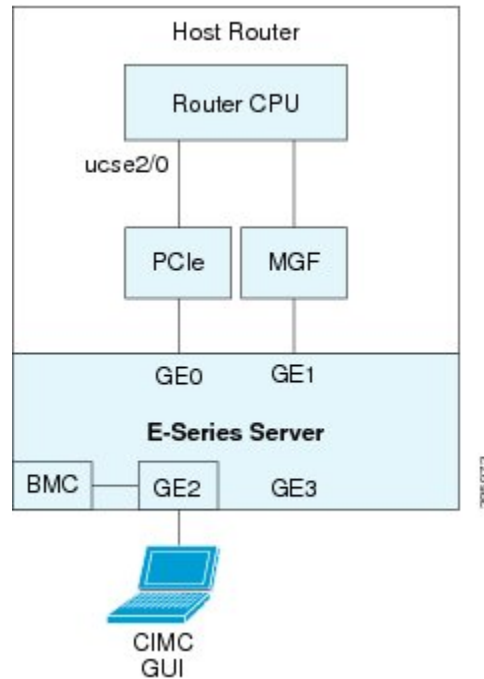
## E シリーズ サーバの外部 GE2 または GE3 インターフェイスによる CIMC アクセスの設定 : ISR G2

次の図と手順を確認し、その手順に従って、E シリーズ サーバの外部 GE2 または GE3 インターフェイスを使用して CIMC アクセスを設定します。



(注) 次の図は、E シリーズ サーバの外部 GE2 インターフェイスを使用して CIMC アクセスを設定する方法を示しています。

図 5: E シリーズ サーバの外部 GE2 インターフェイスによる CIMC アクセスの設定



### はじめる前に

次の情報について確認してください。

- CIMC の IP アドレス。
- ルータにログインするためのユーザ名とパスワード。
- E シリーズ サーバのスロットとポート番号。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	Router> <b>enable</b>	ホスト ルータで特権 EXEC モードを開始します。パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	Router# <b>configure terminal</b>	ホスト ルータでグローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	Router (config)# <b>interface ucse slot/port</b>	E シリーズサーバがインストールされているスロットとポート用のインターフェイスコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 4	Router (config-if)# <b>imc ip address cimc-ip-address subnet-mask default-gateway cimc-gateway-ip-address</b>	CIMC の IP アドレスと、CIMC が使用する必要があるデフォルトゲートウェイの IP アドレスを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>cimc-ip-address</i> : CIMC の IP アドレス。</li> <li>• <i>subnet-mask</i> : IP アドレスに付加するサブネットマスクであり、ホストルータと同じサブネットに属する必要があります。</li> <li>• <i>cimc-gateway-ip-address</i> : デフォルトゲートウェイの IP アドレス。</li> </ul>
ステップ 5	Router (config-if)# <b>imc access-port shared-lom {GE2   GE3}</b>	E シリーズサーバの外部 GE2 または GE3 インターフェイスを使用して CIMC アクセスを設定します。 「E シリーズサーバインターフェイスの概要 : ISR G2」の 4 番目と 5 番目の項目を参照してください。
ステップ 6	Router (config-if)# <b>no shut</b>	インターフェイスが管理上のアップ状態になります。
ステップ 7	Router (config-if)# <b>end</b>	コンフィギュレーションモードを終了します。
ステップ 8	Router# <b>show running-config</b>	アドレス設定を確認できるように、ルータの実行コンフィギュレーションを表示します。
ステップ 9	Router# <b>copy running-config startup-config</b>	(任意) ルータの新しい実行コンフィギュレーションをスタートアップコンフィギュレーションとして保存します。

次の例は、サーバの外部 GE2 インターフェイスを使用して CIMC アクセスを設定する方法を示しています。

```
Router> enable
Router> password
Router# configure terminal

Router(config)# interface ucse 2/0
Router(config-if)# imc ip address 10.0.0.1 255.0.0.0 default-gateway 10.0.0.2
Router(config-if)# imc access-port shared-lom GE2
Router(config-if)# no shut
Router(config-if)# end

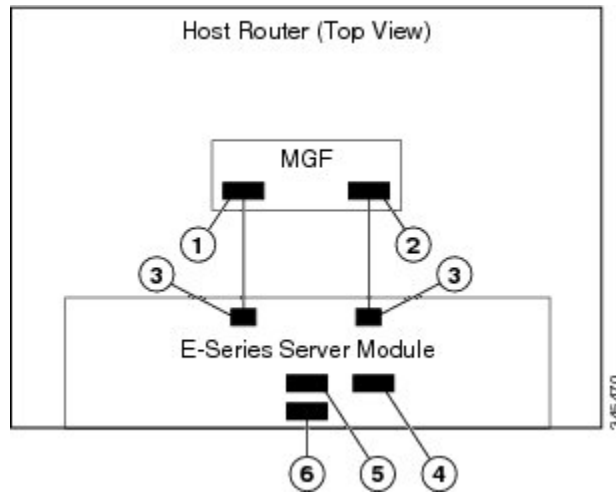
Router# show running-config
Router# copy running-config startup-config
```

## CIMC アクセスの設定 : Cisco ISR 4451-X

### E シリーズ サーバインターフェースの概要 : Cisco ISR 4451-X

次の図は、ダブル幅の E シリーズ サーバおよび Cisco ISR 4451-X ホスト ルータのインターフェイスを示します。

図 6: ダブルワイドの E シリーズ サーバインターフェイス



	インターフェイス	インターフェイスの場所	説明
1	ルータの <code>ucse slot/0/0</code> インターフェイス	内部インターフェイス	<p>高速バックプレーン スイッチ上で CIMC にアクセスするために使用されます。MGF インターフェイスは、ルータと E シリーズサーバ間の内部レイヤ 2 GE リンクを提供します。このインターフェイスは、CIMC 設定でもホスト オペレーティング システム設定でも使用できます。</p> <p>(注) このインターフェイスは、E シリーズサーバの内部 GE0 インターフェイスにアクセスするために使用されません。</p>

2	ルータの <code>ucse slot/0/1</code> インターフェイス	内部インターフェイス	高速バックプレーン スイッチ上で CIMC にアクセスするために使用されます。 MGF インターフェイスは、ルータと E シリーズサーバ間の内部レイヤ 2 GE リンクを提供します。 このインターフェイスは、CIMC 設定でもホストオペレーティングシステム設定でも使用できます。  (注) このインターフェイスは、E シリーズサーバの内部 GE1 インターフェイスにアクセスするために使用されます。
3	GE0 および GE1 インターフェイス	内部インターフェイス	E シリーズサーバの内部 NIC インターフェイス。
4	管理 (専用) インターフェイス	External Interface	CIMC の設定と管理に使用されます。
5	GE3 インターフェイス	External Interface	CIMC 設定でもホストオペレーティングシステム設定でも使用できます。  (注) GE3 インターフェイスは、ダブル幅 E シリーズサーバだけで使用できます。
6	GE2 インターフェイス	External Interface	CIMC 設定でもホストオペレーティングシステム設定でも使用できます。

## CIMC アクセス設定オプション : Cisco ISR 4451-X

リモート ユーザであるかローカル ユーザであるかに応じ、次のいずれかの操作を実行して CIMC アクセスを設定します。

- リモート ユーザの場合は、Cisco IOS CLI を使用して、次のいずれかのインターフェイスによって使用する CIMC アクセスを設定します。
  - CIMC 管理 (専用) インターフェイス

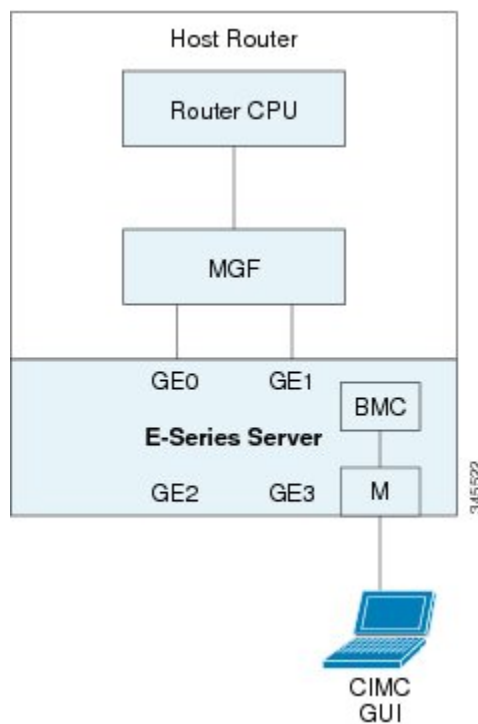


- E シリーズ サーバの内部 GE0 およびルータの `ucse slot/0/0` インターフェイス
  - E シリーズ サーバの内部 GE1 インターフェイスおよびルータの `ucse slot/0/1` インターフェイス
  - E シリーズ サーバの外部 GE2 または GE3 インターフェイス
- ローカルユーザの場合は、CIMC Configuration Utility または Cisco IOS CLI（前述）を使用して CIMC アクセスを設定します。

## E シリーズ サーバの外部管理（専用）インターフェイスによる CIMC アクセスの設定 : Cisco ISR 4451-X

次の図と手順を確認し、その手順に従って、E シリーズ サーバの外部管理（専用）インターフェイスを使用して CIMC アクセスを設定します。

図 7: E シリーズ サーバの外部管理（専用）インターフェイスによる CIMC アクセスの設定



### はじめる前に

次の情報について確認してください。

- CIMC の IP アドレス。
- ルータにログインするためのユーザ名とパスワード。

- E シリーズ サーバのスロットとポート番号。

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	Router> <b>enable</b>	ホスト ルータで特権 EXEC モードを開始します。パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	Router# <b>configure terminal</b>	ホスト ルータでグローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	Router (config)# <b>ucse subslot slot/port</b>	E シリーズサーバがインストールされているスロットとポート用の <b>ucse</b> インターフェイス コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 4	Router (config-ucse)# <b>imc ip address cimc-ip-address subnet-mask default-gateway cimc-gateway-ip-address</b>	CIMC の IP アドレスと、CIMC が使用する必要があるデフォルトゲートウェイの IP アドレスを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>cimc-ip-address</i> : CIMC の IP アドレス。</li> <li>• <i>subnet-mask</i> : IP アドレスに付加するサブネットマスクであり、ホスト ルータと同じサブネットに属する必要があります。</li> <li>• <i>cimc-gateway-ip-address</i> : デフォルト ゲートウェイの IP アドレス。</li> </ul>
ステップ 5	Router (config-ucse)# <b>imc access-port mgmt</b> or Router (config-ucse)# <b>imc access-port dedicated</b>	サーバの外部管理（専用）インターフェイスを使用して CIMC アクセスを設定します。 <a href="#">E シリーズ サーバ インターフェイスの概要 : Cisco ISR 4451-X, (15 ページ)</a> の 4 番目の項目を参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco IOS XE Release 3.9S をインストールした場合は、<b>imc access-port mgmt</b> コマンドを使用します。</li> <li>• Cisco IOS XE Release 3.10S 以降のバージョンをインストールした場合は、<b>imc access-port dedicated</b> コマンドを使用します。</li> </ul>
ステップ 6	Router (config-ucse)# <b>end</b>	ホスト ルータの特権 EXEC モードに戻ります。
ステップ 7	Router# <b>show running-config</b>	アドレス設定を確認できるように、ルータの実行コンフィギュレーションを表示します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 8	Router# <b>copy running-config startup-config</b>	(任意) ルータの新しい実行コンフィギュレーションをスタートアップコンフィギュレーションとして保存します。

次に、サーバの外部管理インターフェイスを使用して CIMC アクセスを設定する例を示します。Cisco IOS XE Release 3.9S だけに適用できます。

```
Router> enable
Router> password
Router# configure terminal

Router(config)# ucse subslot 1/0
Router(config-ucse)# imc ip address 10.0.0.1 255.0.0.0 default-gateway 10.0.0.2
Router(config-ucse)# imc access-port mgmt
Router(config-ucse)# end

Router# show running-config
Router# copy running-config startup-config
```

次に、サーバの外部専用インターフェイスを使用して CIMC アクセスを設定する例を示します。Cisco IOS XE Release 3.10S 以降のバージョンにだけ適用できます。

```
Router> enable
Router> password
Router# configure terminal

Router(config)# ucse subslot 1/0
Router(config-ucse)# imc ip address 10.0.0.1 255.0.0.0 default-gateway 10.0.0.2
Router(config-ucse)# imc access-port dedicated
Router(config-ucse)# end

Router# show running-config
Router# copy running-config startup-config
```

## E シリーズ サーバの NIC インターフェイスを使用する CIMC アクセスの設定 : Cisco ISR 4451-X

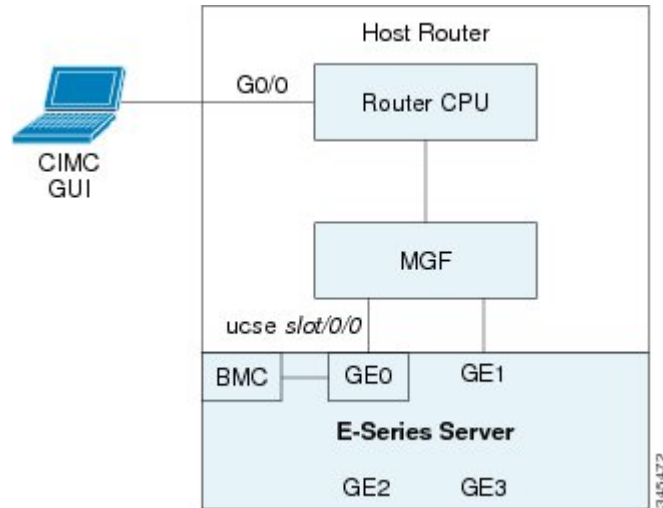
CIMC にアクセスするには、次の E シリーズ サーバの NIC インターフェイスのいずれかを使用します。

- E シリーズ サーバの内部 GE0 およびルータの *ucse slot/0/0* インターフェイス
- E シリーズ サーバの内部 GE1 インターフェイスおよびルータの *ucse slot/0/1* インターフェイス
- E シリーズ サーバの外部 GE2 または GE3 インターフェイス

## E シリーズ サーバの内部 GE0 インターフェイスと Cisco ISR 4451-X ucse slot/0/0 インターフェイスによる CIMC アクセスの設定

次の図と手順を確認し、その手順に従って、E シリーズ サーバの内部 GE0 インターフェイスとルータの ucse slot/0/0 インターフェイスを使用して CIMC アクセスを設定します。

図 8 : E シリーズ サーバの内部 GE0 インターフェイスとルータの ucse slot/0/0 インターフェイスによる CIMC アクセスの設定



### はじめる前に

次の情報について確認してください。

- CIMC の IP アドレス。
- ルータにログインするためのユーザ名とパスワード。
- E シリーズ サーバのスロットとポート番号。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	Router> <b>enable</b>	ホスト ルータで特権 EXEC モードを開始します。パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	Router# <b>configure terminal</b>	ホスト ルータでグローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	Router (config)# <b>interface GigabitEthernet 0/0/0</b>	ギガビットイーサネット 0/0/0 のインターフェイス コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 4	Router (config-if)# <b>ip address ip-address subnet-mask</b>	インターフェイスの IP アドレスおよびサブネット マスクを指定します。
ステップ 5	Router (config-if)# <b>no shut</b>	インターフェイスが管理上のアップ状態になります。
ステップ 6	Router (config-if)# <b>exit</b>	インターフェイス コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 7	Router (config)# <b>interface ucse slot/0/0</b>	E シリーズ サーバがインストールされているスロット、ポート、およびサブポートの ucse インターフェイス コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 8	Router (config-if)# <b>ip unnumbered type number</b>	<p>(任意) <code>ip unnumbered</code> コマンドは、インターフェイスに明示的な IP アドレスを割り当てずに、そのインターフェイス上での IP 処理をイネーブルにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>type</i> : 割り当てられた IP アドレスをルータが保持しているインターフェイスのタイプ。</li> <li>• <i>number</i> : 割り当てられた IP アドレスをルータが保持しているインターフェイスおよびサブインターフェイスの番号。</li> </ul> <p>(注) アンナンバードインターフェイスは、一意である必要があります。番号付けされていない別のインターフェイスは指定できません。</p> <p><code>ip unnumbered</code> コマンドを使用する場合は、<code>ip route</code> コマンドを使用してスタティックルートを作成する必要があります。</p> <p><b>注意</b> <code>ip unnumbered</code> および <code>ipv6 unnumbered</code> コマンドでは、デバイス間のポイントツーポイントインターフェイスが作成されます。ブロードキャストはサポートされません。</p>
ステップ 9	Router (config-if)# <b>no shut</b>	インターフェイスが管理上のアップ状態になります。
ステップ 10	Router (config-if)# <b>exit</b>	インターフェイス コンフィギュレーション モードを終了します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 11	Router (config)# <b>ucse</b> <b>subslot</b> <i>slot/port</i>	E シリーズ サーバがインストールされているスロットとポート用の <b>ucse</b> インターフェイス コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 12	Router (config-ucse)# <b>imc</b> <b>ip address</b> <i>cimc-ip-address</i> <i>subnet-mask</i> <b>default-gateway</b> <i>cimc-gateway-ip-address</i>	CIMC の IP アドレスと、CIMC が使用する必要があるデフォルト ゲートウェイの IP アドレスを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>cimc-ip-address</i> : CIMC の IP アドレス。</li> <li>• <i>subnet-mask</i> : IP アドレスに付加するサブネットマスクであり、ホストルータと同じサブネットに属する必要があります。</li> <li>• <i>cimc-gateway-ip-address</i> : デフォルト ゲートウェイの IP アドレス。</li> </ul>
ステップ 13	Router (config-ucse)# <b>imc</b> <b>access-port ge0</b> または Router (config-ucse)# <b>imc</b> <b>access-port shared-lom</b> <b>console</b>	E シリーズ サーバの内部 GE0 インターフェイスまたはコンソール インターフェイスによる CIMC アクセスを設定します。 <a href="#">E シリーズ サーバ インターフェイスの概要 : Cisco ISR 4451-X, (15 ページ)</a> の 3 番目の項目を参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco IOS XE Release 3.9S をインストールした場合は、<b>imc access-port ge0</b> コマンドを使用します。</li> <li>• Cisco IOS XE Release 3.10S 以降のバージョンをインストールした場合は、<b>imc access-port shared-lom console</b> コマンドを使用します。</li> </ul>
ステップ 14	Router (config-ucse)# <b>exit</b>	<b>ucse</b> インターフェイス コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 15	Router (config)# <b>ip route</b> <i>cimc-ip-address subnet-mask</i> <b>ucse</b> <i>slot/port/subport</i>	スタティック ルートを作成します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>cimc-ip-address</i> : CIMC の IP アドレス。</li> <li>• <i>slot/port/sub-port</i> : E シリーズ サーバがインストールされるスロット、ポート、およびサブポート。</li> </ul>
ステップ 16	Router (config)# <b>end</b>	コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 17	Router# <b>ping</b> <i>cimc-ip-address</i>	<b>ucse slot/0/0</b> インターフェイスを経由するルータから CIMC への接続を確認します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 18	Router# <b>show running-config</b>	アドレス設定を確認できるように、ルータの実行コンフィギュレーションを表示します。
ステップ 19	Router# <b>copy running-config startup-config</b>	(任意) ルータの新しい実行コンフィギュレーションをスタートアップコンフィギュレーションとして保存します。

次に、E シリーズ サーバの内部 GE0 インターフェイスとルータの `ucseslot/0/0` インターフェイスによる CIMC アクセスを設定する例を示します。Cisco IOS XE Release 3.9S にだけ適用できます。

```
Router> enable
Router> password
Router# configure terminal

Router(config)# interface GigabitEthernet0/0/0
Router(config-if)# ip address 10.0.0.1 255.0.0.0
Router(config-if)# no shut
Router(config-if)# exit

Router(config)# interface ucse 1/0/0
Router(config-if)# ip unnumbered GigabitEthernet0/0/0
Router(config-if)# no shut
Router(config-if)# exit

Router(config)# ucse subslot 1/0
Router(config-ucse)# imc ip address 10.0.0.2 255.0.0.0 default-gateway 10.0.0.1
Router(config-ucse)# imc access-port ge0
Router(config-ucse)# exit

Router(config)# ip route 10.0.0.2 255.255.255.255 ucse 1/0/0
Router(config)# end

Router# ping 10.0.0.2
Type escape sequence to abort.
Sending 5, 100-byte ICMP Echos to 10.0.0.2, timeout is 2 seconds:
!!!!
Success rate is 100 percent (5/5), round-trip min/avg/max = 1/2/4 ms

Router# show running-config
Router# copy running-config startup-config
```

次に、E シリーズ サーバの内部コンソールインターフェイスとルータの `ucseslot/0/0` インターフェイスによる CIMC アクセスを設定する例を示します。Cisco IOS XE Release 3.10S 以降のバージョンにだけ適用できます。

```
Router> enable
Router> password
Router# configure terminal

Router(config)# interface GigabitEthernet0/0/0
Router(config-if)# ip address 10.0.0.1 255.0.0.0
Router(config-if)# no shut
Router(config-if)# exit

Router(config)# interface ucse 1/0/0
Router(config-if)# ip unnumbered GigabitEthernet0/0/0
```

```

Router(config-if)# no shut
Router(config-if)# exit

Router(config)# ucse subslot 1/0
Router(config-ucse)# imc ip address 10.0.0.2 255.0.0.0 default-gateway 10.0.0.1
Router(config-ucse)# imc access-port shared-lom console
Router(config-ucse)# exit

Router(config)# ip route 10.0.0.2 255.255.255.255 ucse 1/0/0
Router(config)# end

Router# ping 10.0.0.2
Type escape sequence to abort.
Sending 5, 100-byte ICMP Echos to 10.0.0.2, timeout is 2 seconds:
!!!!
Success rate is 100 percent (5/5), round-trip min/avg/max = 1/2/4 ms

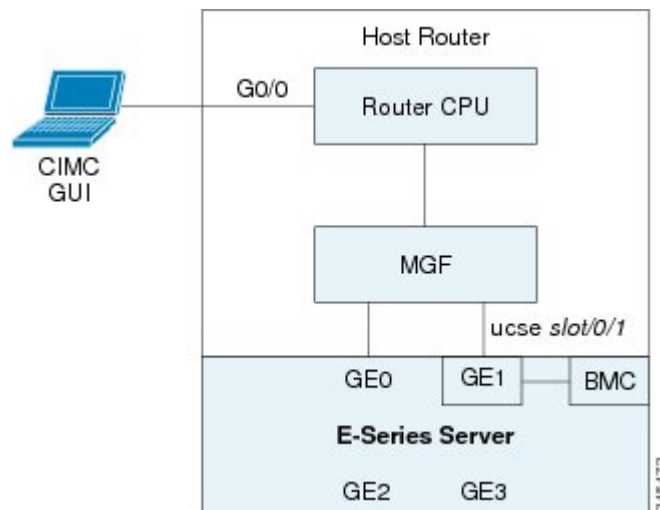
Router# show running-config
Router# copy running-config startup-config

```

## E シリーズ サーバの内部 GE1 インターフェイスと Cisco ISR 4451-X ucse slot/0/1 インターフェイスによる CIMC アクセスの設定

次の図と手順を確認し、その手順に従って、E シリーズ サーバの内部 GE1 インターフェイスとルータの ucse slot/0/1 インターフェイスによる CIMC アクセスを設定します。

図 9 : E シリーズ サーバの内部 GE1 インターフェイスとルータの ucse slot/0/1 インターフェイスによる CIMC アクセスの設定



### はじめる前に

次の情報について確認してください。

- CIMC の IP アドレス。
- ルータにログインするためのユーザ名とパスワード。
- E シリーズ サーバのスロットとポート番号。



## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	Router> <b>enable</b>	ホスト ルータで特権 EXEC モードを開始します。パスワードを入力します（要求された場合）。
ステップ 2	Router# <b>configure terminal</b>	ホスト ルータでグローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	Router (config)# <b>interface GigabitEthernet 0/0/0</b>	ギガビット イーサネット 0/0/0 のインターフェイス コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 4	Router (config-if)# <b>ip address ip-address subnet-mask</b>	インターフェイスの IP アドレスおよびサブネット マスクを指定します。
ステップ 5	Router (config-if)# <b>no shut</b>	インターフェイスが管理上のアップ状態になります。
ステップ 6	Router (config-if)# <b>exit</b>	インターフェイス コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 7	Router (config)# <b>interface ucse slot/0/1</b>	E シリーズ サーバがインストールされているスロット、ポート、およびサブポートの ucse インターフェイス コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 8	Router (config-if)# <b>ip unnumbered type number</b>	<p>（任意） <code>ip unnumbered</code> コマンドは、インターフェイスに明示的な IP アドレスを割り当てずに、そのインターフェイス上での IP 処理をイネーブルにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>type</i> : 割り当てられた IP アドレスをルータが保持しているインターフェイスのタイプ。</li> <li>• <i>number</i> : 割り当てられた IP アドレスをルータが保持しているインターフェイスおよびサブインターフェイスの番号。</li> </ul> <p>（注） アンナンバード インターフェイスは、一意である必要があります。番号付けされていない別のインターフェイスは指定できません。</p> <p><code>ip unnumbered</code> コマンドを使用する場合は、<code>ip route</code> コマンドを使用してスタティック ルートを作成する必要があります。</p> <p><b>注意</b> <code>ip unnumbered</code> および <code>ipv6 unnumbered</code> コマンドでは、デバイス間のポイントツーポイント インターフェイスが作成されません。ブロードキャストはサポートされません。</p>

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 9	Router (config-if)# <b>no shut</b>	インターフェイスが管理上のアップ状態になります。
ステップ 10	Router (config-if)# <b>exit</b>	インターフェイスコンフィギュレーションモードを終了します。
ステップ 11	Router (config)# <b>ucse subslot slot/port</b>	E シリーズ サーバがインストールされているスロットとポート用の <b>ucse</b> インターフェイスコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 12	Router (config-ucse)# <b>imc ip address cimc-ip-address subnet-mask default-gateway cimc-gateway-ip-address</b>	CIMC の IP アドレスと、CIMC が使用する必要があるデフォルトゲートウェイの IP アドレスを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>cimc-ip-address</i> : CIMC の IP アドレス。</li> <li>• <i>subnet-mask</i> : IP アドレスに付加するサブネットマスクであり、ホストルータと同じサブネットに属する必要があります。</li> <li>• <i>cimc-gateway-ip-address</i> : デフォルトゲートウェイの IP アドレス。</li> </ul>
ステップ 13	Router (config-ucse)# <b>imc access-port ge1</b> または Router (config-ucse)# <b>imc access-port shared-lom ge1</b>	E シリーズサーバの内部 GE1 インターフェイスによる CIMC アクセスを設定します。 <a href="#">E シリーズ サーバ インターフェイスの概要 : Cisco ISR 4451-X, (15 ページ)</a> の 3 番目の項目を参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco IOS XE Release 3.9S をインストールした場合は、<b>imc access-port ge1</b> コマンドを使用します。</li> <li>• Cisco IOS XE Release 3.10S 以降のバージョンをインストールした場合は、<b>imc access-port shared-lom ge1</b> コマンドを使用します。</li> </ul>
ステップ 14	Router (config-ucse)# <b>exit</b>	ucse インターフェイスコンフィギュレーションモードを終了します。
ステップ 15	Router (config)# <b>ip route cimc-ip-address subnet-mask ucse slot/port/subport</b>	スタティック ルートを作成します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>cimc-ip-address</i> : CIMC の IP アドレス。</li> <li>• <i>slot/port/sub-port</i> : E シリーズサーバがインストールされるスロット、ポート、およびサブポート。</li> </ul>
ステップ 16	Router (config)# <b>end</b>	コンフィギュレーションモードを終了します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 17	Router# <b>ping</b> <i>cimc-ip-address</i>	ucse slot/0/1 インターフェイスを経由するルータから CIMC への接続を確認します。
ステップ 18	Router# <b>show</b> <b>running-config</b>	アドレス設定を確認できるように、ルータの実行コンフィギュレーションを表示します。
ステップ 19	Router# <b>copy</b> <b>running-config</b> <b>startup-config</b>	(任意) ルータの新しい実行コンフィギュレーションをスタートアップコンフィギュレーションとして保存します。

次に、E シリーズ サーバの内部 GE1 インターフェイスとルータの ucse スロットの /0/1 インターフェイスによる CIMC アクセスを設定する例を示します。Cisco IOS XE Release 3.9S にだけ適用できます。

```
Router> enable
Router> password
Router# configure terminal

Router(config)# interface GigabitEthernet0/0/0
Router(config-if)# ip address 10.0.0.1 255.0.0.0
Router(config-if)# no shut
Router(config-if)# exit

Router(config)# interface ucse 1/0/1
Router(config-if)# ip unnumbered GigabitEthernet0/0/0
Router(config-if)# no shut
Router(config-if)# exit

Router(config)# ucse subslot 1/0
Router(config-ucse)# imc ip address 10.0.0.2 255.0.0.0 default-gateway 10.0.0.1
Router(config-ucse)# imc access-port gel
Router(config-ucse)# exit

Router(config)# ip route 10.0.0.2 255.255.255.255 ucse 1/0/1
Router(config)# end

Router# ping 10.0.0.2
Type escape sequence to abort.
Sending 5, 100-byte ICMP Echos to 10.0.0.2, timeout is 2 seconds:
!!!!
Success rate is 100 percent (5/5), round-trip min/avg/max = 1/2/4 ms

Router# show running-config
Router# copy running-config startup-config
```

次に、E シリーズ サーバの内部 GE1 インターフェイスとルータの ucse スロットの /0/1 インターフェイスを使用する CIMC アクセスを設定する例を示します。Cisco IOS XE Release 3.10S 以降のリリースに適用できます。

```
Router> enable
Router> password
Router# configure terminal

Router(config)# interface GigabitEthernet0/0/0
Router(config-if)# ip address 10.0.0.1 255.0.0.0
```

```
Router(config-if)# no shut
Router(config-if)# exit

Router(config)# interface ucse 1/0/1
Router(config-if)# ip unnumbered GigabitEthernet0/0/0
Router(config-if)# no shut
Router(config-if)# exit

Router(config)# ucse subslot 1/0
Router(config-ucse)# imc ip address 10.0.0.2 255.0.0.0 default-gateway 10.0.0.1
Router(config-ucse)# imc access-port shared-lom gel
Router(config-ucse)# exit

Router(config)# ip route 10.0.0.2 255.255.255.255 ucse 1/0/1
Router(config)# end

Router# ping 10.0.0.2
Type escape sequence to abort.
Sending 5, 100-byte ICMP Echos to 10.0.0.2, timeout is 2 seconds:
!!!!
Success rate is 100 percent (5/5), round-trip min/avg/max = 1/2/4 ms

Router# show running-config
Router# copy running-config startup-config
```

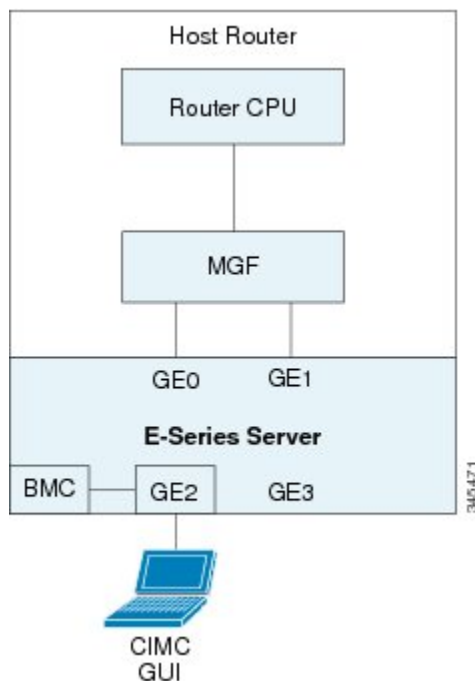
### E シリーズ サーバの外部 GE2 または GE3 インターフェイスによる CIMC アクセスの設定 : Cisco ISR 4451-X

次の図と手順を確認し、その手順に従って、E シリーズ サーバの外部 GE2 または GE3 インターフェイスを使用して CIMC アクセスを設定します。



(注) 次の図は、E シリーズ サーバの外部 GE2 インターフェイスを使用して CIMC アクセスを設定する方法を示しています。

図 10 : E シリーズ サーバの外部 GE2 インターフェイスによる CIMC アクセスの設定



### はじめる前に

次の情報について確認してください。

- CIMC の IP アドレス。
- ルータにログインするためのユーザ名とパスワード。
- E シリーズ サーバのスロットとポート番号。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	Router> <b>enable</b>	ホスト ルータで特権 EXEC モードを開始します。パスワードを入力します (要求された場合)。
ステップ 2	Router# <b>configure terminal</b>	ホスト ルータでグローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	Router (config)# <b>ucse subslot slot/port</b>	E シリーズサーバがインストールされているスロットとポート用の <b>ucse</b> インターフェイス コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 4	Router (config-ucse)# <b>imc ip address cimg-ip-address subnet-mask default-gateway cimg-gateway-ip-address</b>	CIMC の IP アドレスと、CIMC が使用する必要があるデフォルトゲートウェイの IP アドレスを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>cimg-ip-address</i> : CIMC の IP アドレス。</li> <li>• <i>subnet-mask</i> : IP アドレスに付加するサブネットマスクであり、ホストルータと同じサブネットに属する必要があります。</li> <li>• <i>cimg-gateway-ip-address</i> : デフォルトゲートウェイの IP アドレス。</li> </ul>
ステップ 5	Router (config-ucse)# <b>imc access-port {GE2   GE3}</b> or Router (config-ucse)# <b>imc access-port shared-lom {GE2   GE3}</b>	E シリーズサーバの外部 GE2 または GE3 インターフェイスを使用して CIMC アクセスを設定します。 <a href="#">E シリーズサーバインターフェイスの概要 : Cisco ISR 4451-X, (15 ページ)</a> の 5 番目と 6 番目の項目を参照してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco IOS XE Release 3.9S をインストールした場合は、<b>imc access-port {GE2   GE3}</b> コマンドを使用します。</li> <li>• Cisco IOS XE Release 3.10S 以降のバージョンをインストールした場合は、<b>imc access-port shared-lom {GE2   GE3}</b> コマンドを使用します。</li> </ul>
ステップ 6	Router (config-ucse)# <b>end</b>	ホストルータの特権 EXEC モードに戻ります。
ステップ 7	Router# <b>show running-config</b>	アドレス設定を確認できるように、ルータの実行コンフィギュレーションを表示します。

次に、サーバの外部 GE2 インターフェイスによる CIMC アクセスを設定する例を示します。Cisco IOS XE Release 3.9S だけに適用できます。

```
Router> enable
Router> password
Router# configure terminal

Router(config)# ucse subslot 1/0
Router(config-ucse)# imc ip address 10.0.0.1 255.0.0.0 default-gateway 10.0.0.2
Router(config-ucse)# imc access-port GE2
Router(config-ucse)# no shut
Router(config-ucse)# end
```

```
Router# show running-config
```

次に、サーバの外部 GE2 インターフェイスによる CIMC アクセスを設定する例を示します。Cisco IOS XE Release 3.10S 以降のバージョンにだけ適用できます。

```
Router> enable
Router> password
Router# configure terminal
```

```
Router(config)# ucse subslot 1/0
Router(config-ucse)# imc ip address 10.0.0.1 255.0.0.0 default-gateway 10.0.0.2
Router(config-ucse)# imc access-port shared-lom GE2
Router(config-ucse)# no shut
Router(config-ucse)# end
```

```
Router# show running-config
```

## CIMC 設定ユーティリティによる CIMC アクセスの設定

ローカルユーザの場合、Cisco IOS CLI または CIMC Configuration Utility を使用して CIMC アクセスを設定します。Cisco IOS CLI を使用して CIMC アクセスを設定するには、「[Cisco IOS CLI を使用した CIMC アクセスの設定](#)」を参照してください。



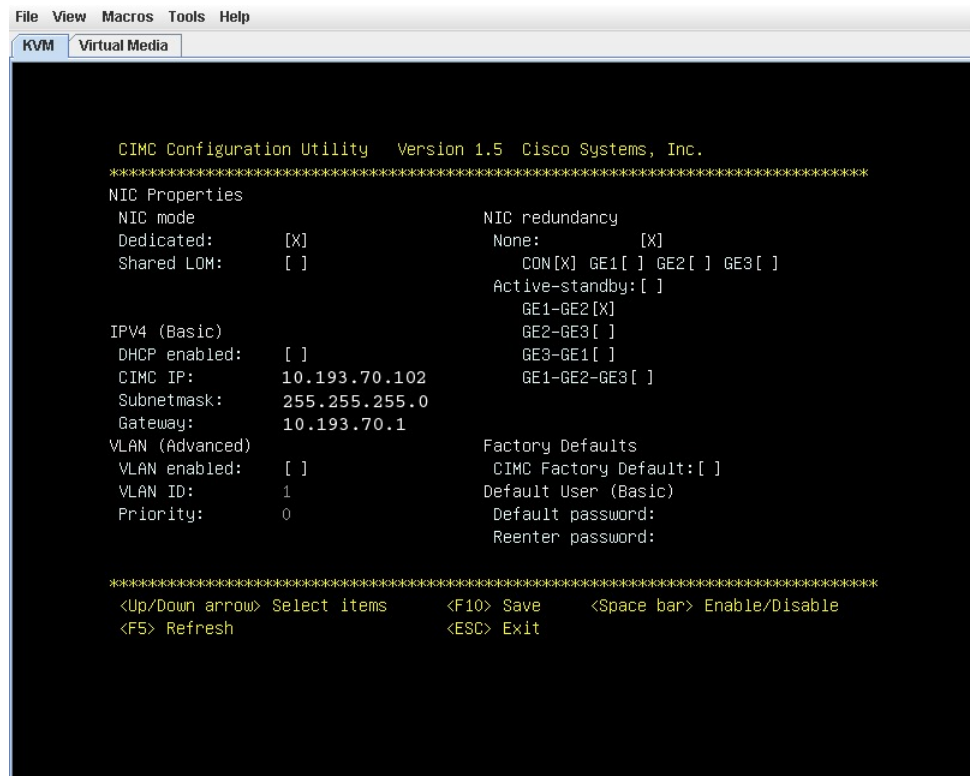
- (注) CIMC Configuration Utility を使用して CIMC アクセスを設定した場合、設定は Cisco IOS 設定として反映されません。つまり、Cisco IOS から `show running-config` コマンドを実行した場合、CIMC Configuration Utility を使用して行った変更は反映されません。

### 手順

- ステップ 1 ルータの電源を投入します。
- ステップ 2 キーボードとモニタを E シリーズ サーバの前面パネルに接続します。
- ステップ 3 電源ボタンを押して、E シリーズ サーバをブートします。ブート中に、F8 の押下を求めるプロンプトが表示されるのを待ちます。
- ステップ 4 プロンプトが表示されたら、F8 を押します。

[CIMC Configuration Utility] が表示されます。

図 11 : CIMC Configuration Utility



- ステップ 5** CIMC Configuration Utility を使用して NIC モードと NIC の冗長性を設定し、DHCP をイネーブルにするか、スタティックなネットワーク設定を指定するかを選択します。
- a) [NIC mode] 領域から、CIMC へのアクセスに使用するポートを選択します。次のオプションがあります。
    - [Dedicated] : CIMC へのアクセスに 10/100 IMC ポートを使用します。
    - [Shared LOM] (デフォルト) : CIMC へのアクセスに 4 つの 1 Gb イーサネット ポートを使用します。これが出荷時のデフォルト設定です。
  - b) [NIC redundancy] 領域で、NIC の冗長性を選択します。次のオプションがあります。
    - [None] : イーサネット ポートは個別に動作し、問題が発生した場合にフェールオーバーを行いません。
    - [Active-standby] : アクティブなイーサネット ポートに障害が発生した場合、スタンバイポートにトラフィックがフェールオーバーします。これが出荷時のデフォルト設定です。
  - c) [IPV4 (Basic)] 領域で、次のいずれかの操作を実行します。



- [DHCP Enabled] : ダイナミックなネットワーク設定のために DHCP をイネーブルにするには、このオプションを選択します。DHCP をイネーブルにするには、DHCP サーバにこのサーバの MAC アドレスの範囲をあらかじめ設定しておく必要があります。MAC アドレスはサーバ背面のラベルに印字されています。このサーバでは、CIMC に 6 つの MAC アドレスの範囲が割り当てられています。ラベルに印字されている MAC アドレスは、6 つの連続 MAC アドレスのうち最初のものであります。

- [CIMC IP] : CIMC の IP アドレス。

[Subnet Mask] : CIMC の IP アドレスに付加するサブネット マスクを入力します。ホスト ルータと同じサブネットに属する必要があります。

[Gateway] : デフォルト ゲートウェイ ルータの IP アドレス。

d) (任意) [VLAN (Advanced)] 領域で、VLAN 設定を指定します。

e) F5 を押してページを更新します。新しい設定が表示されます。  
ページの更新には、約 45 秒かかります。

f) F10 を押して設定を保存し、サーバをリブートします。

DHCP のイネーブル化を選択した場合、動的に割り当てられた IP アドレスと MAC アドレスがブートアップ時にコンソール画面に表示されます。

**ステップ 6** ステップ 5 のサブステップ a で [NIC Mode] 設定に選択したポートを使用して、LAN から E シリーズサーバにイーサネット ケーブルを接続します。

**ステップ 7** Web ブラウザで、CIMC にアクセスするために設定した IP アドレスを入力します。CIMC IP アドレスは、ステップ 5 のサブステップ c で指定した設定に基づいています (スタティックな IP アドレスまたは DHCP サーバから割り当てられた IP アドレス)。  
CIMC のログインに使用するデフォルトのユーザ名は admin、デフォルトのパスワードは password です。

**ステップ 8** CIMC GUI または CIMC CLI を使用してサーバの管理とモニタを行います。

『*GUI Configuration Guide for Cisco UCS E-Series Servers*』または『*CLI Configuration Guide for Cisco UCS E-Series Servers*』を参照してください。

## スクリプトファイルによるネットワークのスタティック設定の定義

ここでは、スクリプトファイルを使った自動構成処理により、複数サーバのスタティックネットワーク設定の指定を行う手順について説明します。

## 手順

- ステップ 1** テキスト エディタを使って、`network.cfg` という名前のファイルを作成します。
- ステップ 2** 設定するタグのみを使用して、次の形式で `network.cfg` のコンテンツを作成します。

```
dhcp-enabled:
v4-addr:
v4-netmask:
v4-gateway:
vlan-enabled:
vlan-id:
vlan-priority:
password:
mode:
redundancy:
```

たとえば、DHCP をディセーブルにするには、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、およびユーザ パスワードを設定します。以下は、使用できるサンプル値です。

```
dhcp-enabled: 0
v4-addr: 10.193.70.102
v4-netmask: 255.255.255.0
v4-gateway: 10.193.70.1
password: nonpasswd
mode:
redundancy:
```

- ステップ 3** テキスト エディタを使用して、`startup.nsh` という名前のファイルを作成し、次の内容を設定します。
- ```
fs0:
cimcconfig
```
- ステップ 4** `network.cfg` ファイルと `startup.nsh` ファイルを USB メモリにコピーします。
- ステップ 5** USB メモリをサーバの USB ポートに接続します。
- ステップ 6** 電源ボタンを押して放し、サーバをブートします。
- ステップ 7** ブート処理を見て、BIOS ブート マネージャへの切り替えメッセージが表示されたら F6 キーを押します。
- ステップ 8** EFI をブート デバイスに選択し、Enter を押します。  
サーバの電源が一度オフになった後にもう一度オンになり、構成ユーティリティが起動して `startup.nsh` ファイルが実行されます。エラーがある場合は、画面と `errors.txt` ファイルに出力されます。
- ステップ 9** USB メモリを取り外し、`network.cfg` ファイルを次の IP アドレスに変更して、次に設定するサーバに USB メモリをセットします。
- ステップ 10** サーバに IP アドレスを割り当てた後、そのアドレスを使用してサービス プロセッサの GUI または CLI 管理システムにアクセスできます。